

2026年10月吉日

D C Mホールディングス株式会社

「DCM DIY place」にて体験型防災イベントを開催

防災士・清水幸子氏による特別防災講座を実施

渋谷区立加計塚小学校4年生の体験学習を支援

D C Mホールディングス株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長 兼 CEO：石黒 靖規）のグループ会社であるD C M株式会社（以下、D C M）が運営する体験型店舗「DCM DIY place」は、9月1日（火）の「防災の日」にあわせ、2026年8月29日（土）～ 9月1日（火）の期間、店内で体験型防災イベントを開催いたしました。期間中は非常食の食べ比べや、災害用トイレの凝固剤体験など、防災グッズを実際に試せるブースを展開しました。

「防災の日」当日は、恵比寿ガーデンプレイスの隣にある渋谷区立加計塚小学校の4年生が来店してイベントを体験したほか、防災士・清水幸子氏による特別防災講座も実施しました。地域の子どもたちに身近な防災について学んでいただきました。



清水氏の話熱心に聞きメモをとる児童たち

■ 防災グッズはいざという時のために実践を

店内では、普段食べる機会の少ない非常食の食べ比べをはじめ、凝固剤の使い方を試せる災害用トイレやポータブル電源の展示など、実物に直接触れられるブースを展開。防災グッズは購入して備えるだけでなく、災害時に正しく活用できなければ十分とは言えません。万が一の際にも落ち着いて対処できるよう、今回のイベントを通して、事前に使い方を体験して学んでおく重要性を広く呼びかけました。



■子どもから大人へ 広がる防災の輪

加計塚小学校の4年生は、4月から防災学習に取り組み、「自分たちの力で周囲にも伝えたい」という思いを深めてきました。今回のイベントや清水氏の講座を通じ、児童たちは「何をどのように伝えるか」という視点を持って、メモを取りながら真剣に参加。講座内では、部屋の模型を使った家庭内の安全対策の解説をはじめ、災害用トイレの必要回数を当てるクイズや凝固剤の体験などが盛り込まれ、子どもたちが楽しみながら実践的な知識を深める姿が見られました。

質疑応答では、「水害発生時は避難所に行くべきか、自宅にとどまるべきか」「がれきの中から見つかるためにはどうすればよいか」など活発な質問が寄せられました。

清水氏からは「今日からできる防災アクションを生活に1つ取り入れてほしい」「子どもからの声かけで大人の意識も変わるため、地域の防災意識を高めていってほしい」といったメッセージが送られ、児童たちが周囲へ『伝える』意識を一層深める機会となりました。

加計塚小学校の4年生は、10月に同校で開催される「防災キャラバン」に向けて今後も学びを深めていきます。「DCM」は、地域社会の一員として児童への助言を行い、今後も防災学習を継続して支援してまいります。



■DCM DIY placeとは

「DIYによる暮らし快適化」のお手伝いをする店舗です。日々の暮らしを快適にするツールとアイデアを取り揃え、「やってみたら自分でできた!」を応援する、ホスピタリティにあふれた体験型店舗です。

店舗名：DCM DIY place

住所：東京都渋谷区恵比寿4丁目20番7号 恵比寿ガーデンプレイスセンタープラザ1F

営業時間：10:00～20:00

定休日：1月1日～3日、法定点検等別途指定する日

HP: <https://www.dcm-hc.co.jp/dcm-diy-place/>

Instagram: [@dcmdiyplace_official](https://www.instagram.com/dcmdiyplace_official)

DCMホールディングス株式会社とは

全国でホームセンター事業、EC事業、リフォーム事業等を展開しております。売上高 5,331 億円、全国に約 918 店舗・約 1.8 万人（※8 時間換算）の従業員を擁しています（2026 年 2 月末現在）。

グループ共通の経営理念「Do Create Mystyle 暮らしの夢をカタチに」のもと、お客さまのために、新しい商品・サービスを創造し、変化に柔軟に対応しながら、地域と団結し、社会に奉仕する、なくてはならない企業のカタチを実現します。

＜本件に関する問合せ先＞

DCM DIY place広報事務局（株式会社K&L内）担当：宮城・加藤・伊藤

TEL：080-5491-8085（伊藤携帯）、03-5211-8131 E-mail: dcm-pr@klt.co.jp